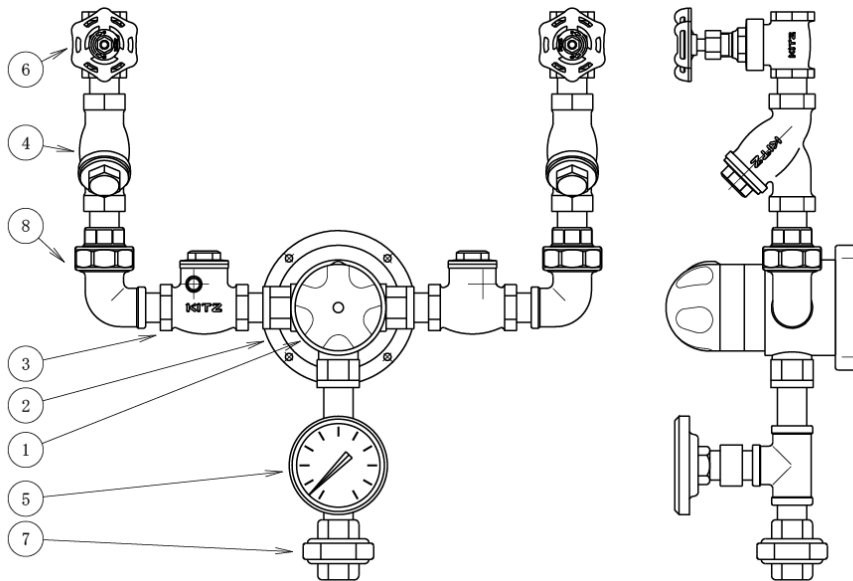


GUSK-215-JW用

メンテナンス ガイド

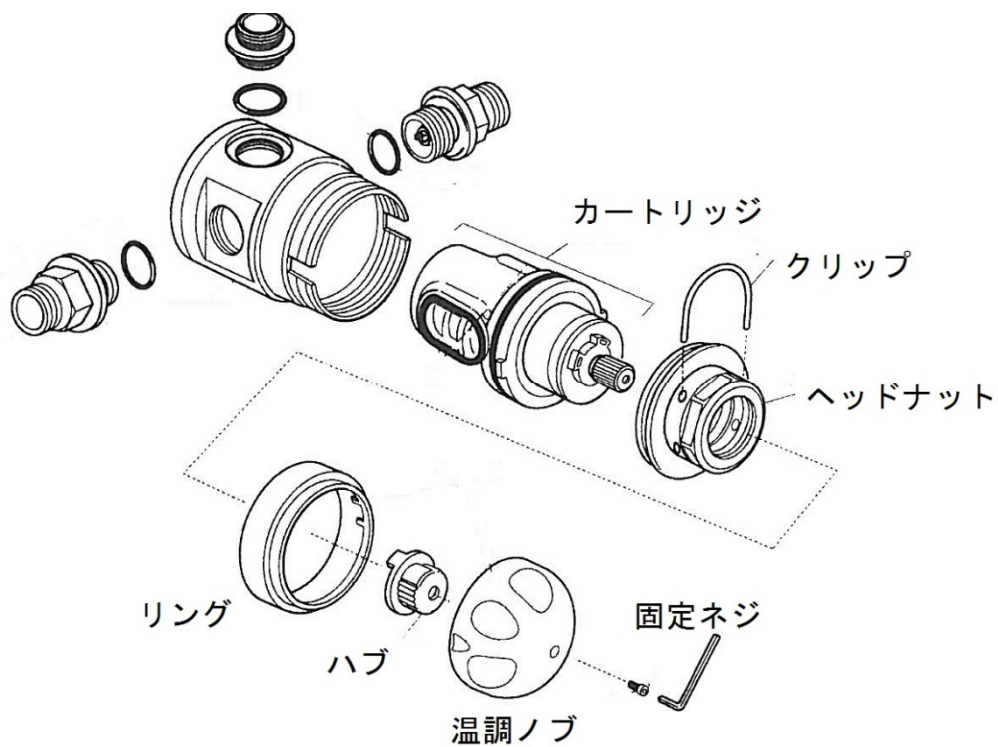
ご使用中のユニットのメンテナンスについて、症状別にメンテナンス方法をご案内いたします。メンテナンスにつきまして、十分安全に配慮し行ってください。また、下記の点は特に注意して作業を行ってください。

- ⚠️ ユニット用メンテナンスバルブを閉にして下さい。**
- ⚠️ ユニット内の残圧が残っていないか確認して下さい。**
- ⚠️ 配管が高温になっている場合があります、ご注意ください。**



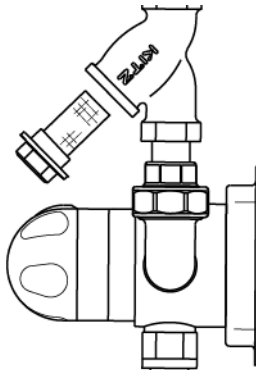
8	ユニオン付エルボ	2	SUS	
7	ユニオン	1	SUS	
6	保守用ゲート弁 (日本水道協会認証品)	2	KSB-2	HN (キット製)
5	温度計	1	B s 他	
4	ストレーナー (日本水道協会認証品)	2	KSB-2	YNK (キット製)
3	逆止弁 (日本水道協会認証品)	2	KSB-2	RN (キット製)
2	バックプレート	1	SUS	
1	ミキシングバルブ (日本水道協会認証品)	1	B s 他	RADA215
符号	名称	数量	材質	備考

内部部品構造



元制御用「GUSK」シリーズは、ミキシングバルブ内部の「カートリッジ」を交換することにより初期の性能を回復することができます。

日常点検

	定期点検事項	対処
①	給湯圧力・給水圧力の確認 ☆定期的に点検ください。	ご使用条件から外れている場合は、調整してください。
②	ストレーナーにゴミ等で スクリーンが目詰がないか？ ☆定期的に点検ください。	プラグを外し、中のスクリーンを清掃又は交換してください。 

目次

- 手順1・・・カートリッジアッセンブリ交換方法。
- 手順2・・・最高温度設定方法。
- 手順3・・・逆止弁作動確認の方法・交換方法

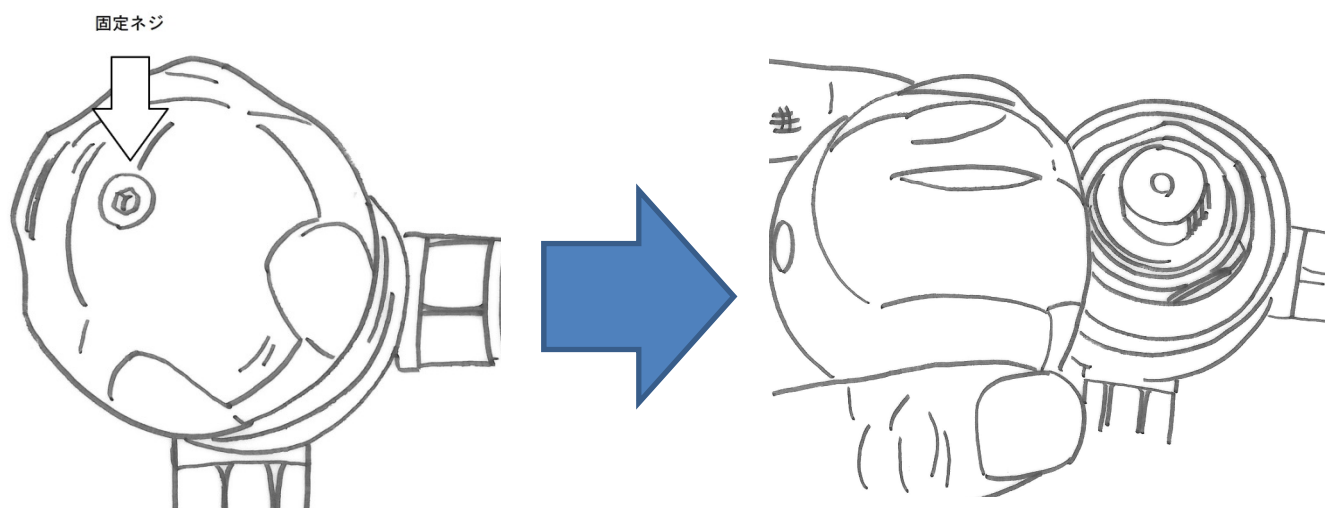
故障診断

	症状別項目	メンテナンス内容	参照手順
③	温調ノブ部分から漏れがある。	・カートリッジの交換が必要です。	手順 1・2 (P4～P8)
④	温調ノブが動かない。	・カートリッジの交換が必要です。	手順 1・2 (P4～P8)
⑤	希望の温水温度が得られない。	・ストレーナーのつまりの確認をして下さい。 ・供給条件を確認して下さい。 ・最高温度の再設定をして下さい。 ・内部部品固着又は劣化の可能性があります。 カートリッジの交換して下さい。	手順 1・2 (P4～P8)
⑥	希望の温水量が得られない。	・ストレーナーのつまりの確認をして下さい。 ・供給条件を確認して下さい。 ・内部部品固着又は劣化の可能性があります、 カートリッジの交換して下さい。	
⑦	温調ノブを右、左に動かして、 温水温度を変えることが 出来ない。	・ストレーナーのつまりの確認をして下さい。 ・供給条件を確認して下さい。 ・内部部品固着又は劣化の可能性があります。 カートリッジの交換して下さい。	
⑧	給水側の配管が熱くなったり。 給湯側の配管が冷たく なっている。	・逆止弁の逆流の可能性があります。	手順 3 (P9)
⑨	適温になるのに時間がかかる。	・逆止弁の逆流の可能性があります。	
⑩	温度計が正しい温度を示さない。	・温度計を交換して下さい	

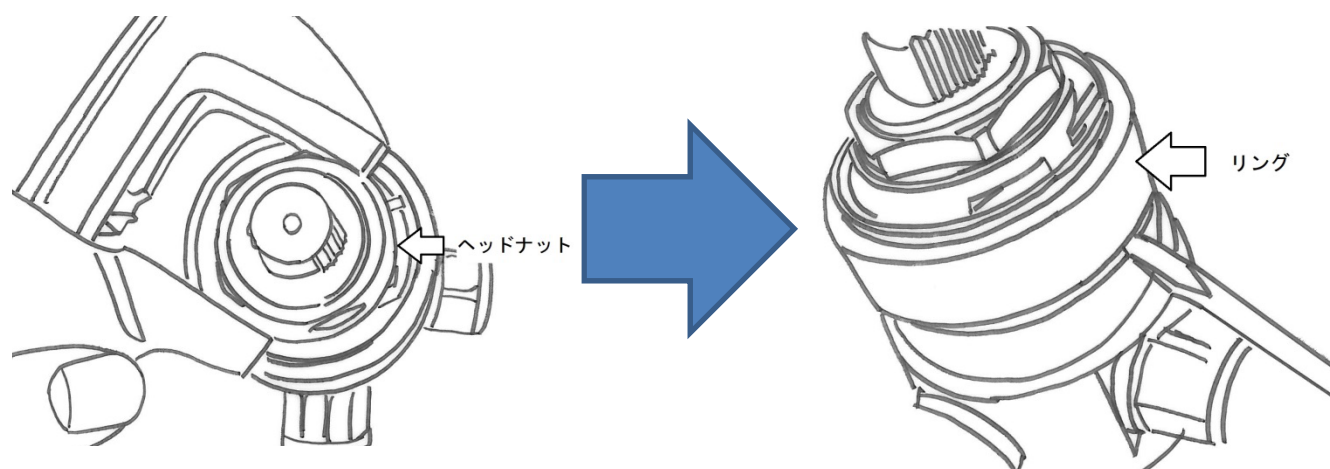
手順 1

・カートリッジの交換方法

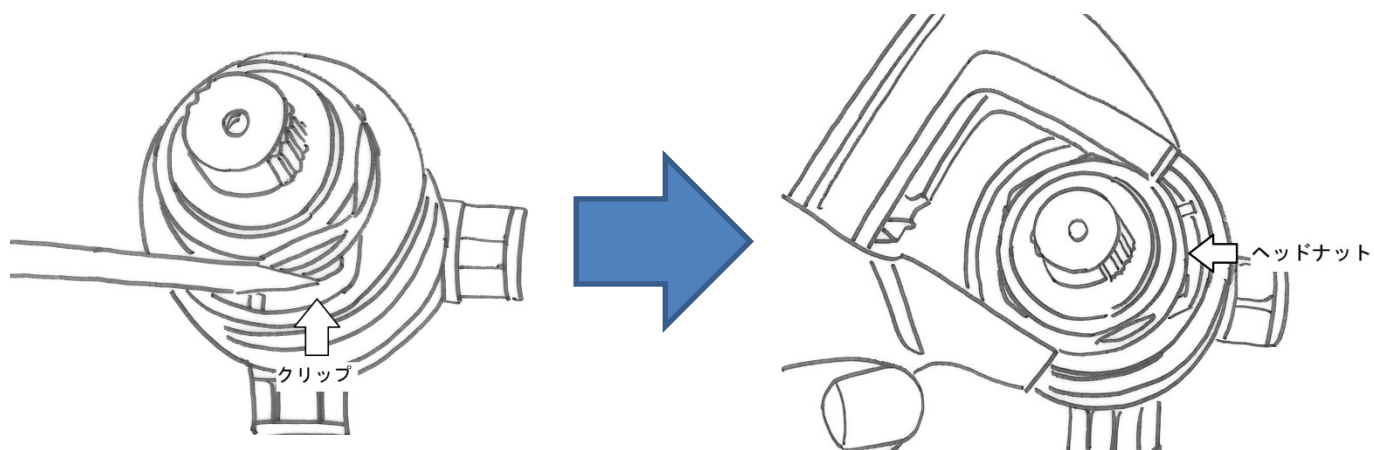
- ① 温調ノブ中央にある「固定ネジ」を付属の六角レンチ（対面3mm）で外し、温調ノブを取り外して下さい。



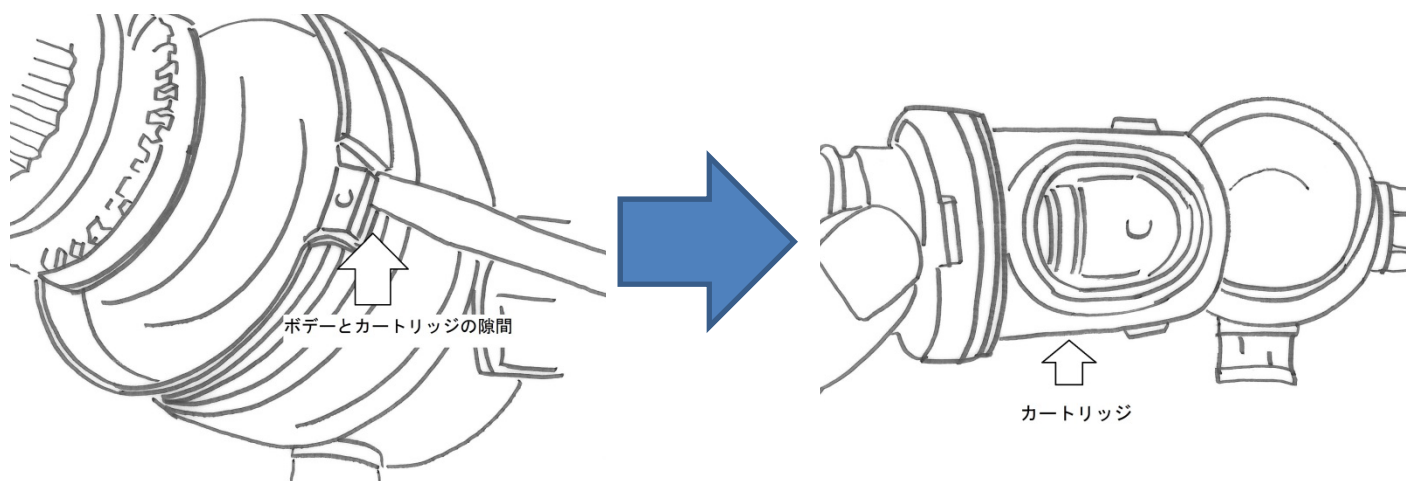
- ② ヘッドナットをスパナなどで1～2回転反時計方向に緩めて下さい。
ヘッドナットとカートリッジがクリップでセットされていますので全体に抜き出てきます。
ボデーとリングの隙間にマイナスドライバーをさし込みリングを外して下さい。
(さし込み式ですので回転させずに手前に引き抜いてください。)



- ③ ヘッドナットに黒色樹脂製のクリップ（U型）がセットされていますのでそれを抜き取り、ヘッドナットを反時計方向に回し取り外して下さい。



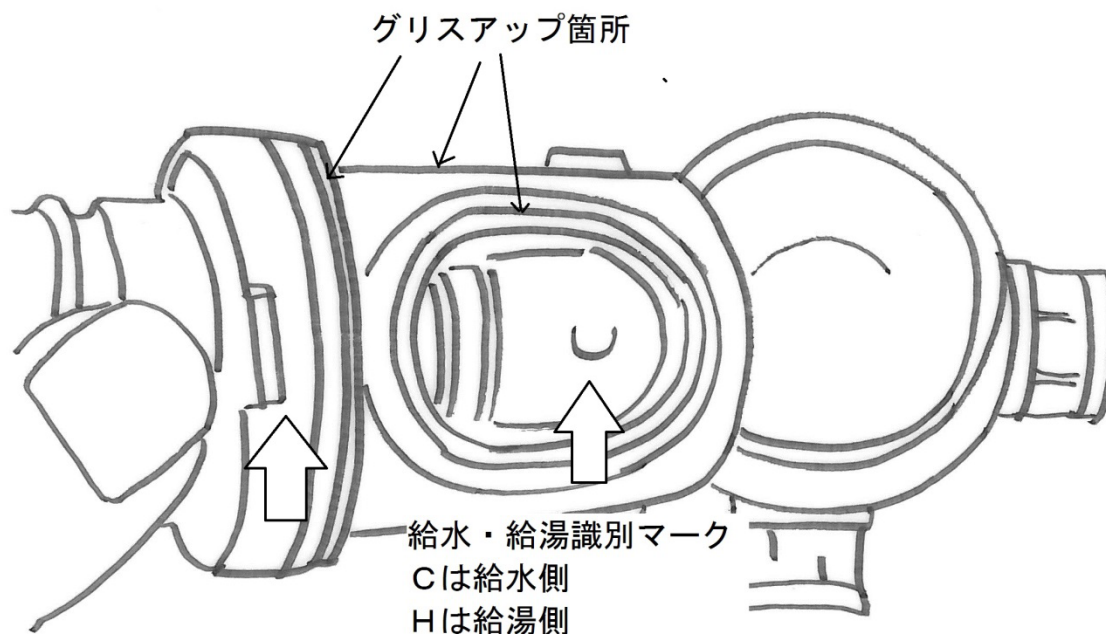
- ④ カートリッジの左右にある「H」・「C」の刻印がある爪とボディーの切欠きの隙間にマイナスドライバーをさし込みゆっくりと引き出して取り外して下さい。



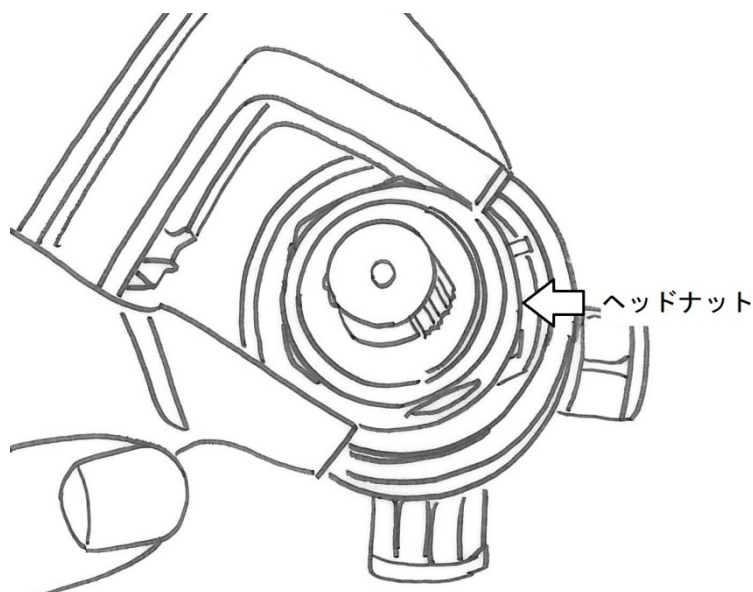
- ⑤ カートリッジを外した後、ボディ内部をOリングの残渣やスケール物がある場合は、やわらかな布で取り除いて下さい。

新しいカートリッジに「Oリング3箇所」に適量グリスを塗布したあと、カートリッジにある給水・給湯の識別マークを確認後カートリッジをボディにセットして下さい。

※カートリッジをボディにセットする時は、“O”リングに傷や破損をしないようにゆっく押し込んで下さい。)



- ⑥ ヘッドナットを時計方向に回しクリップをセットして下さい。
(ヘッドナットは締めすぎないようにご注意ください)



- ⑦ リングの内側にある溝とボディ側にある切欠きがはまるようにリングを取付下さい。

手順 2

・最高温度設定方法

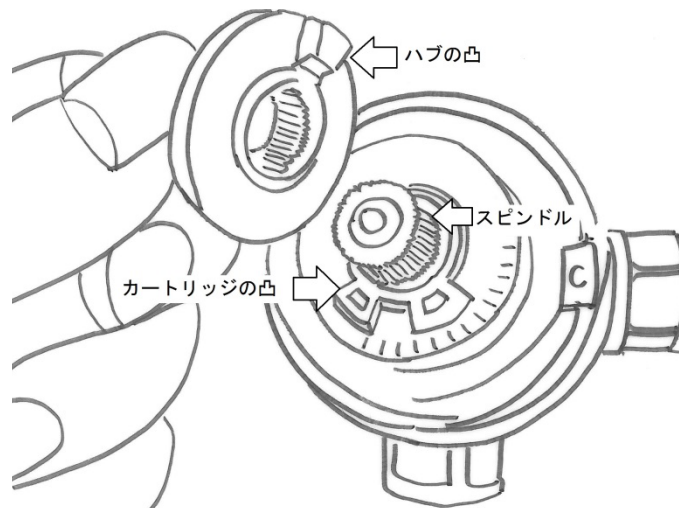
(内部部品交換後の温度設定時)

※間違って温調ハンドルを高温側に操作しても高温が出ることがない温度です、通常運転の設定温度ではありません。

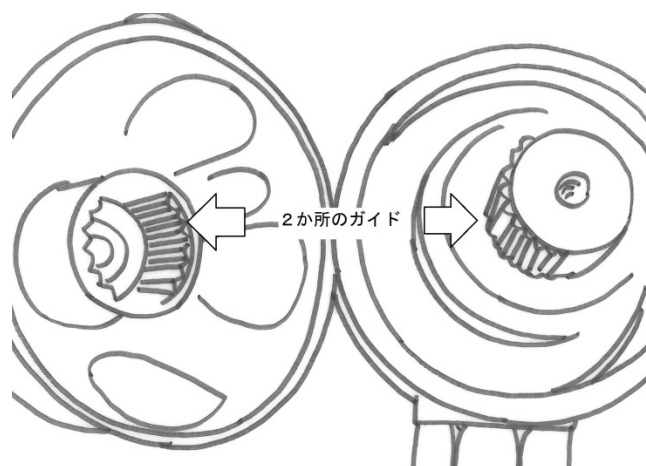
- ⑦ 運転を開始する前にカートリッジのスピンドルを時計方向（低温側）にいっぱい操作して下さい。

メンテナンスバルブと温水出口を開け運転を開始して下さい。

ミキシングバルブの出口の温度計を確認しながら「最高出湯温度」が得られるまでゆっくりと反時計方向にスピンドルを回し、カートリッジの凸（下記図中の矢印）とハブの凸（下記図中の矢印）が左いっぱい（高温側）当たる位置で「ハブ」をセットして下さい。

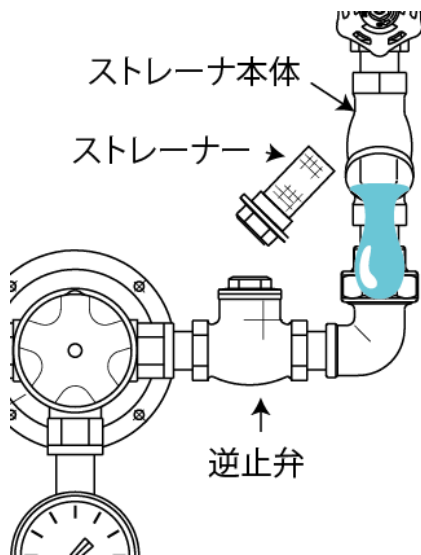


- ⑧ ハブをスピンドルにセットした後、温調ノブの内側にあるガイド（2か所）とハブのガイド（2か所）を位置を合わせて「温調ノブ」をセットし固定ネジで取付けて下さい。
セット後温水を出しながら「温調ノブ」を操作し正常に温度調整ができるか確認して下さい。
※温度調整ができない場合は、カートリッジの給湯・給水の取付け方向が間違っていないか確認して下さい



手順 3

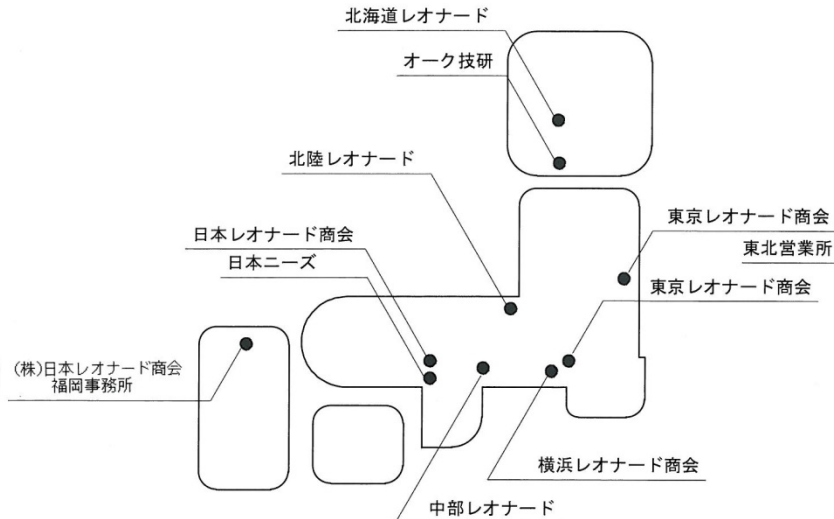
・ 逆止弁の逆流確認方法。



- ①給湯・給水のメンテナンスバルブを閉めユニット内の残圧を取り除いて下さい。
- ②ストレーナーのキャップを片側のみ外して下さい。
- ③温水出口のバルブを閉じて下さい。
- ④外したキャップの反対側のメンテナンスバルブを少しずつ開けてください。
- ⑤全開にしても外したストレーナーから漏れ出さなければ、逆止弁機能は正常です。
- ⑥図のように漏れがあるようなら、新しいものと交換してください。



LEONARD サービスネットワーク



(株)日本レオナード商会

TEL.06-6336-0321 FAX06-6336-1529

<http://www.japan-leonard.co.jp>

(有)北海道レオナード	TEL.011-898-1096 FAX.011-898-1107
(有)オーク技研	TEL.0138-56-1131 FAX.0138-56-1187
(株)東京レオナード商会	TEL.03-5952-5788 FAX.03-5952-5586
(株)東京レオナード商会 ●さいたまセンター	TEL.048-866-0711 FAX.048-866-2160
(株)東京レオナード商会 ●東北営業所	TEL.022-384-8305 FAX.022-384-8306
(株)横浜レオナード商会	TEL.045-982-2551 FAX.045-982-2440
(株)中部レオナード	TEL.0568-81-6734 FAX.0568-81-6702
北陸レオナード	TEL.076-268-7501 FAX.076-268-8204
(株)日本ニーズ	TEL.06-6444-1300 FAX.06-6444-1569
(株)日本レオナード商会 福岡事務所	TEL.092-511-2733 FAX.092-553-2313